

2026年度 11月期 入学試験問題

発達心理学専攻

発達心理学コース

[博士課程（前期）]

専門科目

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入してから問題にとりかかること。
3. 問題1問ごとに、1枚の解答用紙を使用すること。1枚で書ききれない場合は申し出ること。
4. 問題【1】から【4】までの4問題に解答すること。
5. 解答の際には、最初に問題の番号を明記すること。
6. 試験時間は、11時から13時までである。
7. 試験終了後、答案を回収する。問題冊子は持ち帰ること。

【1】 素行障害/素行症と反社会性パーソナリティ障害/反社会性パーソナリティ症について、両者の違いを明確にしたうえで、それぞれの特徴（症状・発症リスク要因・介入や予防など）について知るところを述べなさい。

【2】 乳幼児期の「遊び」と「表象の獲得」との関連について、具体的な事例を挙げて説明しなさい。

【3】 以下の表は大学生の部活動への動機づけと適応感に関する分析の結果である。以下の（1）と（2）に答えなさい。



（出典）外山美樹・湯 立(2019). 大学運動部活動における部員の自律的動機づけが部活動への適応感に及ぼす影響—主将のリーダーシップを調整変数として.教育心理学研究, 67, 175-189.から一部抜粋。

（1）自律的—他律的動機づけと部活動への適応感との関連について読み取れることを記述しなさい。

（2）部活への自律的動機づけを促進するために必要な主将や部員の心がけについて、具体的に記述しなさい。

【4】 幼児期から児童期にかけての記憶の発達について述べなさい。